事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 14 日

1．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人　こどもの居場所サポートおおさか
（2）事業名　：こども食堂サポート機能設置事業
（3）事業実施期間：2020 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
（4）資金分配団体名：一般社団法人　全国食支援活動協力会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了　／　☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒ 全て公開した　／　☐ 一部未公開　／　☐ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済　／　☐ 変更があったが未報告　／　☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい　／　☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 監事：乾亮二
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	朝日新聞（2022 年 11 月 3 日） https://www.asahi.com/articles/ASQB0412KQB2PTIL001.html 公明新聞（2023 年 3 月 16 日）
広報制作物等	無	
報告書等	有	2022 年度子ども食堂団体ヒアリング調査報告書 https://www.kodomonoibasyo-supportosaka.com/_files/ugd/11fef1_ca587287edea4c839e22e1aa85c6a54b.pdf

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

3 年間事業を実施する中で、事務所や倉庫、車両、中継拠点等と活動を担うスタッフ等のハード面を整備することができた。そのことにより、地域内の活動団体とのソフトのネットワーク構築を図ることができ、サポートを必要とするこどもや家庭に数多くつながることができた。
一点目の課題意識として、事業の実施に活動の比重が傾き、組織基盤整備については引き続き検討材料となっている。
二点目の課題意識として、社会課題に対する先駆的なアプローチを本事業で行うことができ、社会的必要性を実証するに至ったが、その活動を公的な制度・施策に位置付けるはたらきかけを国や自治体に行うことまではできたが、実現にまで至ることはできなかった。
三点目として、公的な制度へのはたらきかけの一方で、ファンドレイジング機能を強化する取り組みも重要であり、それについても発展途上の段階である。
以上三点を当団体の引き続きの課題と認識しているが、それらについてのアフターフォローや、ステップアップ事業のような支援があると、休眠預金等活用事業がより充実したものになると考える。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

○　食育実習

・新型コロナの感染状況をみながら、2022 年秋に、対面の食育実習を実施。

○　徳島県からの野菜受入

・フードロスになってしまう徳島県の野菜を大阪に届ける取り組み。新型コロナ感染下の規制緩和により、観光バスへの貨客混載が認められ実現。

○　食でつながるフェスタおおさか

・新型コロナの感染状況をみながら、2 月開催予定を延期し、　2022 年 4 月にハイブリッドで開催。感染対策を行いながら、グループワークも実施。

○　食料品寄贈受入

・新型コロナ感染対策にともなう緊急事態宣言下で、資金分配団体経由で、全国企業より大量の寄贈を受取って配分を行う。